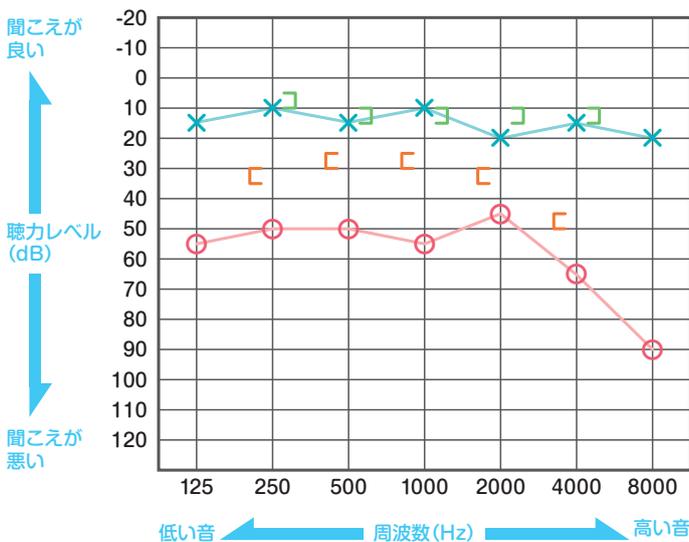


聴力検査結果(オーディオグラム)の見方

音の強さをだんだん弱くしていくと、ついにはきこえなくなります。この最も小さな音で聞こえるレベルを聴力とします。

聴力検査により周波数ごとに測定された聴力を示したものをオーディオグラムといいます。

▶ オーディオグラムの見方



- 右気導聴力 (実際の聞こえ)
- × 左気導聴力
- 右骨導聴力 (内耳での聞こえ)
-] 左骨導聴力

縦軸は音の大きさを示します。音の大きさの測定値はデシベル (dB) で記載され、グラフの上から下へと数値が大きいほど、大きな音になります。正常聴力を0dBとしています。

横軸は音の高さを示します。音の高さはヘルツ (Hz) で記載され、グラフの左から右へと数値が大きいほど高音になります。母音の「あー」という声は女性で 200Hz 前後、男性は 110Hz くらいです。

音声や生活音をオーディオグラム上に表すとだいたい右図のようになります。

私達はいろいろな音をきいて生活しています。

普通の会話レベルの音量は 60dB ほどです。難聴があり会話が十分に聞こえなければ、お子様の言語習得に影響がでできます。

